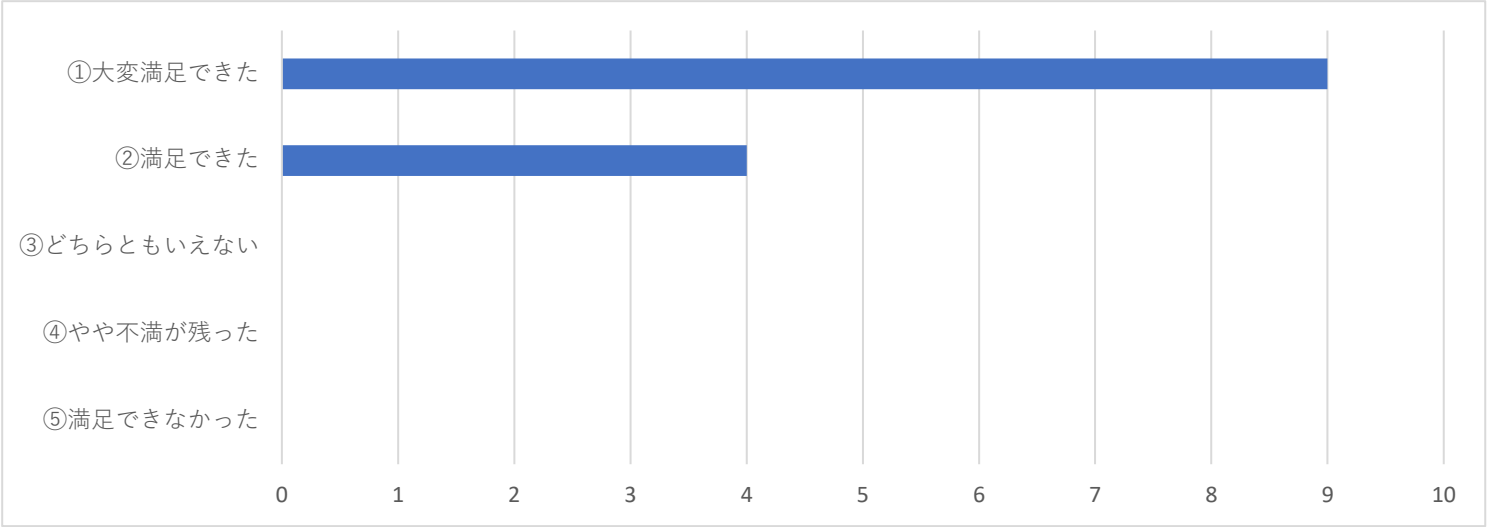


令和6年度 能登半島地震復興支援セミナー 第8回 アンケート

【日時】 令和6年10月23日(水) 15:00～16:00
【開催】 オンライン・オンデマンド
【タイトル】 備えない防災「フェーズフリー」
【講師】 秦 康範
日本大学理工学部建築学科教授
日本大学大学院危機管理学研究科教授
日本大学災害研究ソサイエティ (NUDS)メンバー

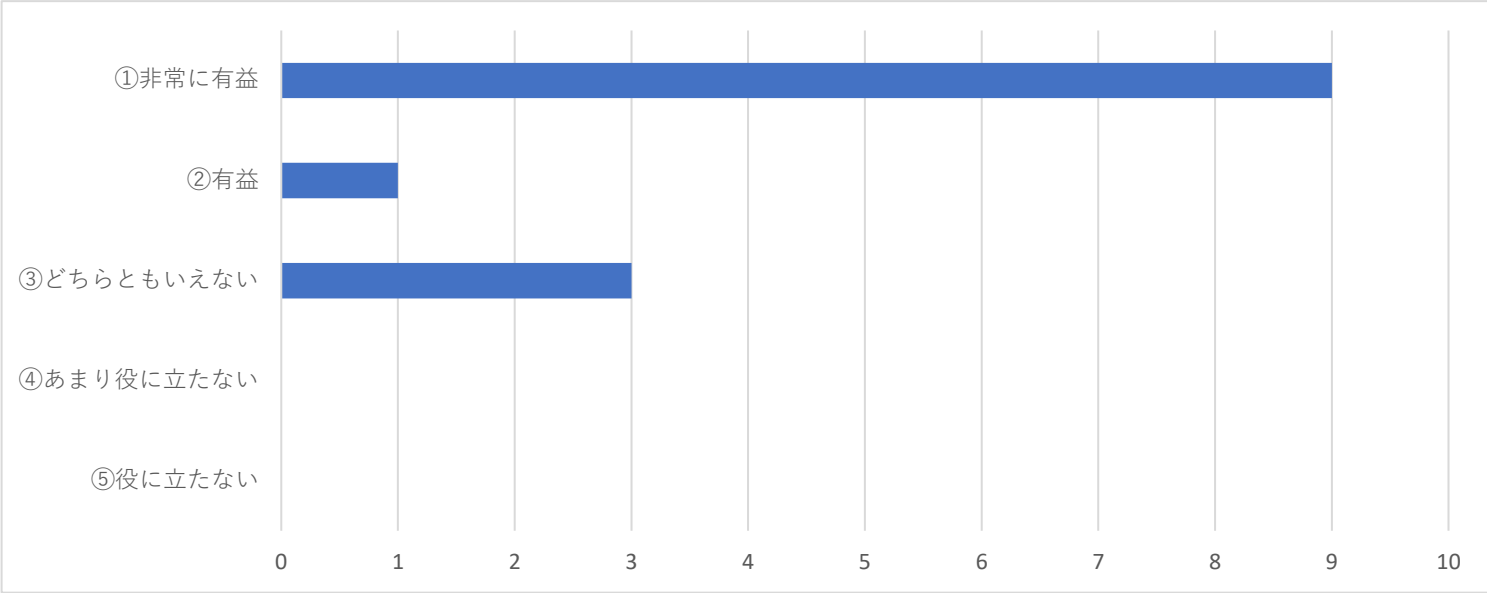
1.講演はいかがでしたか。



2.設問1の回答について、よろしければ、その理由を具体的にお書きください。

- ・「楽しくなければ対応してくれない」という現実をよく理解できた。対応するにはやはりきっかけが必要である。
- ・フェイズフリー、初めて知りました
- ・日頃からの備えは個人任せではなく、自治体等社会全体でする、高い生活の質を求めていくためにするとわかり同感できたから。
- ・日頃の生活をしながら災害に備えるということが震災以降、耳にするようになりましたが、それをさらに進めるような話があると良かったと思います。
- ・能登地震を機に、防災にも関心を持たなくてはと…と思うようになり、勉強になり聞きやすかったです。ありがとうございます。
- ・防災訓練と称して、人を集めるのは地域でも本当に大変なこと。フェーズフリーの考え方で、発想を変えて企画していかなければと本当に感じた。

3.被災地の現状を知るため又は復興のために役立つものでしたか。



講演内容やセミナー運営等で、良かった点、不満足な点、感想、お気づきになった点などございましたら、ぜひお書きください。

- ・時間を守った運営でよかったと思います。
- ・申し込みどおりオンラインで見えていたのですが、途中で席を離れなければいけない事態になりました。オンデマンドがあって良かったです。
- ・ローリングストックなどは、日頃から実施していることであったが、そのことがフェーズフリーの考え方と一致するという事を初めて知った。防災訓練も特別なことと考えると人は集まらないけど、地域の楽しいイベントの中に、取り込んでいけば、子供たちも大人も自然に参加できると気づかされた。